

諸戸徳成邸の保存

西羽 晃

桑高の南にある諸戸徳成邸については、「徳成随風」でもしばしば取り上げてきました。その保存を訴えるため「諸戸徳成邸の保存・活用を考える会」を立ち上げて、私も参加してきました。そして保存を求める集会、草刈り・清掃活動、「徳成ウォーク」の開催、桑名市への嘆願書、日本イコモス国内委員会（世界遺産登録のための日本での組織）へ支援要請など、地道な活動を続けてきました。その様子を見たマスコミ・ミニコミも各誌が取り上げてくれました。

その結果、2月17日に発表された桑名市の新年度予算案に諸戸徳成邸を取得するための調査費などが盛り込まれました。発表にあたり、伊藤徳宇・桑名市長（桑高出身者）は「文化的価値が非常に高く、桑名のブランド力を高められると判断した」（2月18日付け『毎日新聞』北勢版）との見解を述べました。財政難にもかかわらず、取得に踏み切った桑名市の英断に感謝しています。

建物は老朽化しており、無償としても、土地は桑名でも最高級の住宅地なので、かなりの高額の取得費がかかると思われます。そのため、現在の所有者である諸戸家によって庭園を国の名勝として指定されるように申請して、指定が決れば、国・県からの補助金で大半の取得費が賄われる勘定です。なお指定が決定し、補助金が支給されるまでには、2～3年ほどかかる見込みです。

市長の話では、管理・運営については、市民団体が行なうことを求められており、「諸戸徳成邸の保存・活用を考える会」がその一翼を担うようになるようです。一般公開するには、建物の修理・トイレの設置・駐車場の設置など施設の整備が必要です。さらに維持費も必要です。それらの費用を得るために一般からの寄付金を募ることも考えられますが、市などの公共団体などへの寄付金は免税処置がされますので、桑名市として寄付金の受け皿を作ってもらう予定です。

活用については、文化財として見せるだけでなく、ここを舞台としてのアートイベント、桑名の特産である食文化との結びつき、付近の名所旧跡を結ぶ散策コースの設定など産業・観光面とのコーポレーションを考えています。グットアイデアがあれば、提案してほしいと思います。

差し当たり5月16日（土）、17日（日）に諸戸徳成邸一般公開をします。詳しくは桑名市文化課（☎0594-24-1361）へ問い合わせてください。なお事前に清掃・草刈り活動を5月9日（土）午前10時から実施します。お問い合わせは「諸戸徳成邸の保存・活用を考える会」代表集山（☎080-5139-6628）へ。